



すべての子どもが集う場である学校を ～ 支援のプラットホームへ ～



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

令和5年10月24日
神奈川県教委育委員会
支援部学校支援課



課題 子どもたちが抱える困難への対応



これまでの学校での対応は、

氷山の一角

SOSを出せる子どもたち

SOSを出せない子どもたち

知られたくない
心配かけたくない
自分のせい
相談方法がわからない、
困難に気付かない 等



新たなターゲット

課題解決に向けた取組



「かながわ子どもサポートドック」の実施（高等学校）

① 「言語化・見える化」の手法

一人一台端末(DX)等を活用した**専門家によるスクリーニング**を実施

SOSを出せる子
全てのこどもに
SOSを出せない子

- ①生徒の自己チェック
 - ②教職員の気付き
- 情報収集

SC・SSW によるスクリーニング



困難の**言語化・見える化**

SC・SSW とのスクリーニング会議



情報共有・**方針検討**

② 「アウトリーチ」の手法

専門家の面談 と **効果的なアウトリーチ**を実施

SC・SSW による面談



インテーク (情報収集)

SC・SSW との校内ケース会議



アセスメント・方針検討

SC・SSW



福祉職アウトリーチ

児童相談所
医療機関

外部機関